

KSKS

わあ〜い

NO. 41 2020. 7. 11

shingakujuku2004@themis.ocn.ne.jp

<http://www.shinai.info>

編集人

社会福祉法人

心 愛

〒573-0146

枚方市大峰元町1丁目21-5

TEL 072-859-9194

FAX 072-859-9195



たくさん動いて、もりもり食べて

だから笑顔になるんだね

笑顔は仲間に力をくれる

みんなの心があったかくなる

新型コロナウイルスに負けないで

理事長 藤 澤 秀 治

今年は散々な春でした。昨年末から今年初めにかけて中国・武漢市において発生した新型コロナウイルスの猛威は、全世界レベルに広がり、日本でも猛烈なスピードで広がっていきました。身近なところでは、お隣の京都府で京産大のクラスターが発生し、京都府井手町で2次、3次感染が確認されました。人口減少に悩む町が学生の力を借り、町の活性化をめざす中での出来事でした。3月初めにヨーロッパの卒業旅行から帰った無症状の学生が、井手町での交流会に参加、それが町職員をはじめその家族へと感染を広げ、クラスターとなったのでした。また、3月29日ザ・ドリフターズで活躍した志村けんさんがコロナで亡くなりました。あんな元気そうな人が入院して一週間余りでなくなる。脅威でした。おまけに70歳というのは私と同年で決して他人ごとではなくなりました。この二つの事例は、誰でもいつ感染源になり、また感染するかもわからない、万一感染した場合には日々免疫力を高める努力をしておかなければならないということを教えました。

全国的に感染が広がる中で、4月6日には大阪府が緊急事態宣言を発出、作業所にも激震が走ります。市と連携を密にしながら、感染防止策を徹底、できることは徹底してやろうと、手洗い、うがい、手指消毒はもちろんのこと、頻繁な消毒、3密(密閉、密室、密接)を避け、昼食は三部制にしてできるだけ少人数での食事になるように、座席もできるだけ間隔を空けるようにし、登所に不安があるときは自主的に休まれるよう保護者に依頼しました。販売に関しては、企業や市役所バザーがすべて自粛、メンバーの工賃も断腸の思いで切り下げざるを得ませんでした。作業所の開所にも暗雲が広がりましたが、職員にも知恵を絞ってもらい「在宅支援」と「通所」を併用しての開所と致しました。

今後、コロナがどのように推移していくか、まだまだ予断は許しませんが、ポストコロナの時代は私たちのこれからの生活のあり方についても示唆するものがたくさんあるような気がします。京都大学こころの未来センター、広井良典教授の言を借りれば、「自立した個人がゆるやかにつながる都市型コミュニティ、『分散型システム』への移行、過度のグローバル化からローカル化、といった変化が起こる」、その変化に呼応して私たちの生活を転換していく好機なのかも知れません。

私たち一人ひとりがコロナに負けない、自立した生活や人生をデザインする「分散型社会」を目指していかなければならないと考えています。

地域に必要とされる作業所になることを願っています

心学塾作業所 前施設長 森加代子

私は、3 月末日をもって、社会福祉法人「心愛」が運営している心学塾作業所の成人式を予め行い、施設長としての任務を次世代の職員さんにメンバーさんたちの将来の事を切にお願いしてバトンタッチさせていただきました。

平成 16 年 4 月 1 日から小規模通所授産施設(メンバー11 名、職員 7 名)として新たな出発をして以来、障害者福祉に係る法律の目まぐるしい変更により、私どものような小さい作業所は翻弄され「もう、だめかもしれない」と言う事態に陥る事が幾度とありました。幾つもの壁に直面する度に、その時機に応じた様々な方々から多くのご支援・ご協力を賜り乗り切ることが出来ました。本来ならば、お一人様ずつ全ての方々のお名前をあげさせて頂き、感謝の意を申し上げるところではありますが、紙面の都合によりお許しいただきたく思います。

大事な作業所を守りたいとメンバーさんはじめ職員一同が一丸となって懸命に頑張ってくれたことは決して忘れることはありません。

常々、前理事長さんが私に言い聞かせるように事あるごとにおっしゃっていました。「森さん、相模原やまゆり園の事件の事を思うと、まだまだ安心してだれもが幸せにとはいかない、そのような時代だからこそ微力ながら、私たちはお預かりしている利用者本人たちの大切な命を守り、これからは幸福に生きていけるよう、そして何よりも地域社会の一員として当たり前の社会生活が送れるよう、法人としての使命があります」「3ヶ所のグループホームはご近所からの苦情はないですか、特にだん暖の家は、ご近所は大事にしてくださいよ。ホーム利用者さんの高齢化も進み、これからの本人たちのニーズを捉えて発展させていけるか、法人運営の真価が問われる時代ではないかと思っています。これまでも、そしてこれからも更に本人中心の支援を続けていきたいと思っています」と丁寧に教えてくださいました。

どんなに重い障害があろうとも一人の人間として当たり前に地域で生きていくことを目標に、重い障害者の心に学ぶべき、そんな明るい楽しい作業所を作りたいと誓い合った親子 4 人は、楠葉のマンションの 1 室に「心学塾作業所」の看板を挙げてただひたすらに歩み続けてきました。この時から、どんなにしんどいことがあってもグッと我慢をして、いつも一歩先に行く友達の「継続は力なり、頑張っていこう」と言う力強い声かけに、私は頷き、日を重ねてきました。お互いの子供達もしっかりついてきてくれました。

平成 13 年 4 月に NPO 法人「心学塾作業所」を設立したのち、5 月にはグループホーム「あい愛の家」を開設しました。先に行く友達に「将来のために、社会福祉法人の設立を頑張ってみない」と声を掛けられ、私も頷きました。息子たちもしっかり協力してくれました。

これからの厳しい現実を前にして、いかなる事態になっても理事長・施設長はじめ職員一人ひとりがメンバーさんの立場にたって、将来を見据えた上で社会の不合理さを心から怒り悲しみ、そして一緒に喜びを共有できる職員集団として、いつも心あつく、歩み続けていただけると信じてバトンタッチです。本当に長い間ありがとうございました。

一人ひとりに寄り添う支援を

施設長就任のご挨拶

施設長 吉川 隆雄

令和 2 年 4 月 1 日付で、施設長に就任致しました。長きに渡り当法人の礎を築いてこられてきた、前森施設長の後を受け、施設長兼サービス管理責任者として携わる事の責任の重大さを痛感しております。

平素は、社会福祉法人心愛 心学塾作業所のメンバーさん及びご家族の皆様をはじめ、地域の皆様におかれましても、温かいご支援とご協力を賜り、この場をお借りして、心から厚くお礼申し上げます。

当法人の理念に、「どのような時代がこようとも知的にハンディのある利用者が地域で安心して、そして幸せに生きていける社会の実現を目指していきたい。誰もが排除されない環境こそが、障害の有無に関係なく皆が幸せになれる社会である」とあります。理念の実現には、当事業所の課題の一つでもあるメンバーさん・職員の高齢化問題に対しての今後の取り組み方が重点になると思っております。課題解決に向け、介護保険制度と障害福祉制度、それぞれにおける、従来からの縦割りの制度を見直し、介護と福祉の一体化の推進、限られた人材の確保および効率化をめざし、地域のニーズや実状に応じたサービスが提供できる仕組みの構築を目指す「共生型サービス」を導入する事により、「65 歳の壁」がなくなり、これまで通りの馴染みのサービス事業所の利用が出来る事で、メンバーさんやご家族が安心できる将来設計を提供する事が出来ます。ですが、課題が多く容易ではない為、実現にはかなりの時間を要すると思われます。その他にも、メンバーさん・職員の高齢化に伴う、今後の就労支援事業への取り組み方や、新型コロナウイルス感染予防対策などの課題があります。

このように課題が山積みする中、施設長という舵取りを仰せつかり、その職責の重大さに戸惑うばかりですが、全職員一丸となり、メンバーさん及びご家族の皆様と真摯に向き合い、一人ひとりに寄り添う支援、笑顔あふれる作業所、地域に愛されるような施設づくりを実現する為、微力ではありますが誠心誠意努めさせていただきますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。

マスクをご寄贈いただきました

2020年5月25日(月)一般社団法人枚方青年会議所が、地元枚方の企業から譲っていただいた端材等の材料を加工・作成した「手作りマスク作成キット」を用いて、枚方市立招堤北中学校の生徒さんが、一つ一つ丁寧に時間をかけて作成された手作りマスクを心学塾作業所に寄贈して下さいました。枚方青年会議所の方々、そして協力して下さいった、招堤北中学校の生徒さん、タナカガーゼ様、大阪紳士服近代化協同組合様、株式会社友栄様、春日野郵便局の皆様、企業団体の方々、この地域とのつながりを感謝するとともに、大切にしていきたいと思っています。



株式会社 ナカキン 様

2020年6月3日(水)株式会社ナカキン様から、心学塾作業所にマスクを寄贈頂きました。職員・メンバー一同、心より御礼申し上げます。寄贈いただいたマスクは、新型コロナウイルス感染予防として、大切に使用させていただきます。

このような、地域の企業様とのつながりが心学塾作業所の財産であり、今後も大切にしていきたいと思っています。

素敵な居場所

管理者の挨拶

あい愛の家 管理者 竹中 章子

昨年度 12 月から、グループホーム事業の管理者をさせて頂いております。この仕事を始めた頃は「作業所から帰って来られた利用者さんに、ほっこりして頂いて、美味しい食事を提供する事」が重要だと考えていました。あれから数年、色々勉強、経験を重ね、今は「利用者さん主体の、各々の利用者さんの充実した生活を」いつも考え、実践しています。利用者さんに寄り添い、日々の業務に取り組んでいます。現在、グループホームは「あい愛の家」「ゆう友の家」「だん暖の家」の 3 ホームです。1 か月に 1 度、主任会議を行い、情報交換し、問題の共有・解決策等を話し合っています。今後、親御さん、利用者さんの高齢化に伴い、24 時間・365 日体制のホームや、医療体制・介護体制の充実を考えていかなければいけません。作業所、親御さん、各ホーム、世話人、地域の社会資源、各々と連携をとり、はたまた地域の人達も巻き込んで、利用者さんの地域での「あたり前の暮らし」、各々の「素敵な居場所」を創っていきたいと思っています。ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

グループホームより



そこを訪れると、部屋の中カラカウと笑い声が響き渡り、弾ける笑顔が出迎えてくれました。心学塾の 3 つあるグループホーム。その中は、落ち着いて、明るくて、あったかいのです。姉妹みたいにお喋りしたり、部屋でころんと休息したり。ここは、心からくつろげる自分の家。思いつき充電して、明日も仕事を頑張れるのは、ここに帰って来られるから。



「ちかごろのあい愛」



あい愛の家では、火傷とコロナの影響で、自宅時間が長った Tさんは、少し甘えん坊になって、訪室した世話人の手を強く握り、次々歌のリクエストをされます。今少し不調気味の Kさんとは、朝の体温測定や髭剃りでは格闘技を掛け合っています。梅雨入りで、天気が気になり心が揺れる Yさんの背中をさすり、プラスの言葉掛けをしています。訪室すると、世話人の髪をぐちゃぐちゃ

にして抱きつき、楽しそうに大笑いする Hさん。あい愛の家には 3 密は存在していません。(笑) 勿論、マスク、手洗い、消毒、換気は行っています。でも、Tさんと歌を唄い、楽しい一時を過ごし、Kさんと格闘技を掛けながらエネルギー交換をし、Yさんの背中をさすりながら優しい体温をお互いに感じ、Hさんに抱きつかれ信頼感を高めています。それらは、3 密よりもずっと抵抗力を高める強いものかも知れません。「ヘルパーセラピー原則」で、今日もあい愛の家は、みんな元気で笑顔あふれています。

(竹中)





「メンバーさんの今」



Kさん：帰宅時にアルコールを持って追いかける日々。マスク装着は大好きで自ら求められました。CDで音楽を楽しみ穏やかに過ごされています。人懐っこくて優しいのに、他のメンバーさんに伝わらないもどかしさがあります。KYさん：何より憂慮されたのがGWの長期休暇の過ごし方で、自宅待機に関し施設長に説得を依頼して以降、外出は午前だけを遵守される。自由な生活を楽しみ、アイス届けると食べ終わるまで子供のような笑顔をされています。Uさん：心身ともに落ち着いて、ホームではカード遊びや散歩代わりに足踏みマシンで運動されその時々笑顔が可愛いと評判です。Eさん：マイペースでゆったりと過ごされています。長時間にわたって頭を下にしないよう、食事や余暇中の視線を上にするようにして精神的、物理的なストレスを少しでも取り除き、安全な生活を送っていただくように皆で取り組んでいます。コロナ前とコロナ後に関係なくメンバーさんにはゆったりした時間が流れ、この平和を維持するために周囲の支援者には「強い危機感と予防対策続行」が課せられています。

(山口)

「元気で明るく」



昨年の7月頃に、メンバーさんが入れ替わり、女性が2人入所されました。最初はとまどいもありましたが、今ではすっかり馴染んでいるように思います。ホームでの様子ですが、FさんDVDを観たり・絵を描いたり・音楽を聴いたり・日記を付けたりと、色々と楽しんでいるようです。Dさんは、お気に入りのDVDを観たり・リビングでテレビを観たりして過ごしています。Kさんは自室とリビングを行ったり来たりも多いですが、自室ではほぼ6チャンネルを観ながら過ごされています。Hさんは、ホームではいつも穏やかで、自室でテレビを観たり、DVDを観ている事が多いです。だん暖の家の世話人全員が元気で明るくユーモアに富んだ人達ばかりなので、メンバーさん4人もいつも会話が楽しく、楽しそうにしています。これからも健康で、そして笑顔で毎日が過ごせるように、世話人一同見守っていかねばと思います。(西田)

寄付金をいただきました。

紙面をお借りして心より御礼申し上げます。(敬称略・順不同)

2019年12月16日～2020年7月11日

田平民子/ 馬淵智生/ 島津徹/ 池永美智子/ 藤澤秀治/ 伊瀬知宜朗/ 山田義明/
コマツユニオン/ 心愛後援会/ 伊瀬知貞夫/ 橋本宣次/ 武田美鈴/ 長谷博友

土曜開所の過ごし方

☆生活介護☆

4 月にコロナウイルスの感染拡大を防ぐ為、政府から緊急事態宣言が発出されました。5 月 21 日に、大阪府は区域解除されましたが、感染拡大の危険は無くなった訳ではなく、不安な日々は続いています。そんな中、心学塾のメンバーさん、職員達で外出予定だった 4 月・5 月の土曜開所を室内での活動に変更して過ごしました。生活介護班は、密集状態を防ぐため少人数で各部屋に分かれて、母の日・父の日のプレゼントを作ったり、たこ焼きカレーを作って過ごしました。コロナウイルスによって、様々な面で先行きの見えない不安に襲われていますが、そんな中でも、心学塾のメンバーさん達はたくましく生活しています。

(河村)

☆就労継続支援B型☆

土曜開所日にみんなで似顔絵を書きました！メンバー同士でペアになり、お互いの顔をじーっと見て観察... ちょっと照れくさそうでしたが、みんな真剣に相手の似顔絵を描いていました。みなさん個性豊かな表現力で似顔絵を完成していましたが、その中でも一番個性的だったのが、KさんとOさんのペアでした！色の使い方や、表現方法に個性的な感性を表出した作品に仕上がっていました。

(西中)



7月の予定

- 7/01 (水) 市役所バザー
- 7/11 (木) 土曜開所
(スポーツ交流会中止)
- 7/15 (火) 藤阪バザー
- 7/18 (土) 土曜開所
- 7/29 (水) セ・ボン販売
(心学塾作業所敷地内)

●○編集後記○●

(吉川・名手)

涼しげな、金魚柄のマスクをつけて来られたメンバーさんがいました。ちょっと得意げな様子が可愛いのです。満面の笑みはマスクに隠れて半分ですが、楽しい気持ちは、不安な心を開放し、身体も元気にしてくれます。今だからこそ、気持ちが華やぐ出来事をみんなで共有し、強い心で苦境を乗り越えて行けたらと思っています。